

平成 29 年度

一般会計補正予算

今回の補正予算は、予算総額に6,703万8千円を追加し総額150億7,151万9千円とするものです。

歳入の主なものは、県支出金、繰越金、諸収入、市債などを増額し、国庫支出金、繰入金を減額するものです。

歳出の主なものは、総務費、農林水産費、土木費、消防費、教育費を増額し、民生費を減額するものです。

問 臨時財政対策債を増額するということが、累積されていく現状をどう考えるか。

答 臨時財政対策債は元利償還金が交付税措置されるが、現在の市の財政状況を考えると全額発行せざるを得ない。

問 地域公共交通サービス構築事業の運転免許証の自主返納者に対する支援について、今回の補正を反映させると、合計何人分か。

答 当初予算で想定していた人数の倍の160人分となる。

問 土地改良施設維持管理適正化事業の対象施設は、どのような施設があるのか。

答 市内の対象となる施設は、揚水機関係で9か所、その他野田堰が1か所で、合計10か所である。



乗り合い交通

平成 29 年度

特別会計補正予算

国民健康保険

今回の補正予算は、予算総額に1億6,719万1千円を追加し、総額62億1,064万9千円とするものです。

歳入は繰越金を増額し、歳出は諸支出金・予備費を増額するものです。

後期高齢者医療

今回の補正予算は、予算総額に380万5千円を追加し、総額5億8,300万2千円とするものです。

歳入は繰越金を増額し、歳出は後期高齢者医療広域連合納付金・諸支出金を増額するものです。

介護保険

今回の補正予算は、予算総額に2億1,188万7千円を追加し、総額30億4,636万5千円とするものです。

歳入は保険料を減額、支払基金交付金・繰入金・繰越金を増額し、歳出は基金積立金・地域支援事業費・諸支出金を増額するものです。

問 現年度分普通徴収保険料の減額の要因は。

答 普通徴収保険料は、年金天引きされない方の保険料で全体の10%程度であるが、当初の想定より少なかったためと考える。

農業集落排水

今回の補正予算は、予算総額に338万5千円を追加し、予算総額を8,465万8千円とするものです。

問 農業集落排水処理施設、維持管理費の補正の詳細は。

答 修繕費については、柴山地区、大山地区両処理施設周りの法面の防草シートの張替えなどを行うものである。

工事請負費については、取付管2件の設置を予定している。